

フランスとのさらなる交流・協力の促進について ～岐阜とフランス 未来へのパートナーシップ～

岐阜県国際戦略推進課

フランス・岐阜／地域交流プログラム

岐阜県では、2008年の「日仏交流150周年」を契機として、フランスと岐阜県の持続可能な交流を進めていくため、2007年に在日フランス大使館との間で、「経済・産業」、「科学技術」、「観光」および「文化・スポーツ」の4分野21項目からなる「フランス・岐阜／地域交流プログラム」を策定し、これまで幅広い分野にわたり交流を進めてきました。

「岐阜とフランス 未来への パートナーシップ」レセプション

昨年の2013年11月には、「フランス・岐阜／地域交流プログラム」に基づくフランスと岐阜県との交流5周年を記念するとともに、今後の交流・協力関係を深化・発展させていくため、在日フランス大使館と岐阜県との共催により、駐日フランス大使公邸において「岐阜とフランス 未来へのパートナーシップ」レセプションを開催しました。

政・財・文化界の招待者やフランスと岐阜県の観光、食、産業、教育などの関係者など約260人が出席したレセプションの冒頭では、5年間の交流事業の実績と成果を紹介するとともに、未来に向けたプロジェクトを「フランス・岐阜／地域交流プログラム 2ndステージ」として発表しました。

会場内には、「観光」、「食」、「モノ」、「産業・大学研究」および「教育文化・若者交流」の各分野に関する紹介ブースを在日フランス大使館と岐阜県が共同で設置し、フランスと岐阜県との関わりやこれまでの交流、それぞれの産業などに関するパネル展示を行いました。そのほか、フランスと岐阜県の観光地を映像や写真パネルで紹介するとともに、双方の陶磁器や工芸品などの地場産品や、レセプション

の料理で使用した食材を展示したほか、岐阜県が全国に向けて発信する自慢の観光資源である『岐阜の宝もの』に認定する「東濃の地歌舞伎」のパフォーマンスを披露しました。

また、立食の食事は、フランスの「シャンパン」と岐阜県産の純米発泡酒「じゃんぱん」での乾杯で始まり、フランス大使公邸のフランス人シェフが飛騨牛や鮎、富有柿をはじめとした岐阜県産の食材を使用したフランス料理を、一方、岐阜県で活躍する日本人シェフがフランス産の食材を使用した料理を提供しました。また、岐阜県の日本酒や和菓子、フランスのワインやチーズなども振る舞われ、フランスと岐阜県のそれぞれの魅力を来場者にPRしました。

フランス・岐阜／地域交流プログラム 2nd ステージ

レセプションで発表した「フランス・岐阜／地域交流プログラム 2ndステージ」では、これまでの交流実績と成果を踏まえ、「観光・食・モノ」、「自治体交流」、「産業・大学研究」および「教育文化・若者交流」の4分野を今後の重点分野とすることとしており、在日フランス大使館と岐阜県では、これらの4分野を優先的に取り上げ、次のとおり具体的な取り組みを行っていくことに合意しました。現在、双方にとって有益な地域間の交流・協力の実現に向け、関係機関・団体の幅広い参加・協力を得て、具体化に向けて取り組んでいるところです。

観光・食・モノ

一つ目の重点分野である「観光・食・モノ」の分野では、フランスと岐阜県の双方向のPRをさらに推進していくこととしています。

本年4月には、白ワインの産地として著名なアルザス州オ＝ラン県の「アルザスワイン街道」と飛騨地域の酒蔵などで組織する「飛騨地酒ツーリズム協議会」との間で友好宣言が取り交わされ、ワインと日本酒を通じた民間団体同士の交流・連携が始まりました。岐阜県としても、ワインと日本酒が結ぶ縁をきっかけに、両県の交流がさらに広がりを見せ、相互PRを通じた地場産品の販路拡大や観光誘客につなげたいと考えており、本年11月には、オ＝ラン県で開催されるコルマル国際旅行博に岐阜県のPRブースを出展するとともに、パリで飛騨牛フェアを開催するなど、知事によるトップセールスを実施する予定です。



アルザスワイン街道と飛騨地酒ツーリズム協議会の友好宣言調印式の様子

また、海外に向けて、岐阜県では、「観光・食・モノ」の各関係団体の垣根を取り払った、「三位一体」による総合的な岐阜県プロモーションに取り組んでおり、岐阜県の「観光」や、飛騨牛を代表とする「食」、デザイン性の高い「モノ」などを体験できるイベントをフランスで開催するとともに、パリ市内に岐阜県のアンテナショップを開設して情報発信していく予定です。

フランスのPRとしては、JR岐阜駅に今秋オープン予定の県産品販売ショップ内にフランスPRコーナーを設け、フランスの「観光・食・モノ」を一体的に紹介するフランスフェアを開催する予定です。

自治体交流

二つ目の重点分野である「自治体交流」の分野では、今後、在日フランス大使館と岐阜県が、5年間で5つの姉妹都市提携を実現することを目標に、自治体交流の促進に取り組んでいくことに合意しました。

姉妹都市関係にある日仏両国の自治体などでは、「日仏自治体交流会議」を日本とフランスで交互に隔年で開催し、両国の自治体が抱える共通の課題について議論するとともに、同会議のネットワークを

活かした多面的な自治体交流の枠組みの構築に取り組んでいるところであり、岐阜県としても、県内自治体の同会議への参加を促進し、フランスとの自治体交流の活性化を図りたいと考えています。

産業・大学研究

三つ目の重点分野である「産業・大学研究」の分野では、今後、航空宇宙産業を中心とした産業交流をさらに進めるとともに、産業振興の基礎となる先端技術分野における技術革新を促進するため、フランスと岐阜県の大学・研究機関の間で、複合材料などに関する共同研究を推進するなど、研究・技術分野の交流に取り組んでいくことに合意しました。また、フランスの企業に岐阜県をPRし、フランス企業の岐阜県への進出についても支援していく予定です。

教育文化・若者交流

四つ目の重点分野である「教育文化・若者交流」の分野では、フランス政府留学局（Campus France）と岐阜県が連携し、県内の大学生のフランスへの留学を強力に促進していくことや、大学間の学術交流協定や高校間の姉妹校提携を推進していくことに合意しました。

本年2月には、岐阜県内の教育機関とフランスの教育機関としては初めて、大垣女子短期大学とパリの私立高等専門学校ユーラジウム校との間で、マンガ教育に関する学術交流協定が締結されました。また、6月には、岐阜県内の専門学校である日本総合ビジネス専門学校とユーラジウム校との間で、アニメ・マンガ教育に関する同様の学術交流協定が結ばれたところであり、今後も、幅広い分野で教育機関の交流が行われるよう取り組んでいく予定です。

このほか、2020年開催の東京オリンピック前の合宿・練習会場として、岐阜県北部の「飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア」をフランス人選手に利用していただくなどのスポーツ交流を促進するとともに、岐阜県内でのフランス語講座の開催やさまざまな文化交流イベントの実施に取り組んでいるところです。